

鳥取オペラ協会公演事業

オペラガラコンサート 2019.10.22

倉吉未来中心小ホール於

○オペラガラコンサートが大好評のうちに終了しました。



□総括

「オペラガラコンサート」報告

鳥取オペラ協会では、久々にオペラガラコンサートを開催しました。今年度は鳥取オペラ協会設立20周年を迎え、新人発掘とベテランの充実をアピールするコンサートを計画いたしました。小さな会場で中身の濃いガラコンサートを願ひ、オペラ・アリア集とは別に、ナレーションを付けた「魔笛」と「椿姫」の抜粋を用意いたしました。なお、構成・演出は西岡千秋(鳥取オペラ協会副会長)が担当し、ナレーションは西岡恵子氏が手掛けてくださいました。

ピアニストの渡邊芳恵氏は、これまで「フィガロの結婚」でスザンナをやったり、新倉健の「窓」では、「三つ目の窓」

の鏡の女を演じたりするソプラノ歌手都しても活躍しているが、今回の歌唱力には目を見張る成長が見てとれました。ソプラノの長谷川愛氏は、2003年の「ドン・ジョヴァンニ」でツェルニーナを歌って以来、久々の登場であり、可憐な歌声が健在でした。豊かな声量を聴かせた田中直子氏は、説得力を持った歌唱が光っていました。今回、初登場のメゾソプラノ田内愛氏は、京都芸大卒の新進気鋭の歌手であり、高いスキルを見せ、今後に大きな期待をもたらすものとなりました。ソプラノの小椋美香子氏は、モーツァルトを手慣れた歌唱で歌い、ベテランぶりを発揮しました。

今回のガラコンサートの特別プログラムとして取り組んだ魔笛のダイジェストは、ナレーターの西岡恵子氏の優れた解説で、聴き応えのある公演になりました。オペラ「魔笛」は4年前に本格公演を行ったベテラン歌手たちが取り組み、さすがと言う見事な演奏を聴かせました。ダームの三重唱(Sp/寺内智子・Msp 鶴崎千晴・Alt 米澤幸)はそれぞれの個性を見せつける演出で、聴衆を圧倒しました。続いて登場した夜の女王は、すっかり十八番となった松田千絵氏によって歌われ、コロラトゥーラ・ソプラノの見事な高音が冴えわたりました。そして、最後に登場したソプラノの尾前加寿子氏のパミーノは、表情豊かで感動的な歌唱を聴かせました。

さて、二部に登場したのが「椿姫」の抜粋です。椿姫は若手のソプラノ(中原美幸氏・佐々木まゆみ氏)とゲスト歌手「谷浩一郎氏」によるアンサンブルが聴きものとなりました。谷氏のソフトで伸びやか声に、アルフレードの人となりを感じさせる優れた歌唱で、聴衆を魅了しました。そして何よりも鳥取県の重鎮「西岡千秋氏」がアルフレードの父親役で参加し、圧倒的な歌唱で聴衆をすっかり魅了してしまいました。その後、全ての出演者が勢ぞろいし、「乾杯の歌」の合唱は堂を揺らせました。今回お聴きいただいたお客様の90%以上の皆様から、とても満足したとアンケートして頂き、次回のオペラ公演に向けて、大きな自信となりました。聴衆の皆様方より受けた叱咤激励に深く感謝申し上げます。



「オペラガラコンサート」アンケート集計

参加者 総入場者数 204人(招待26/学生6/一般162/当日清算券10)

□ディレクターコメント

入場者数の想定を120人としていましたので、経営的には安心域に達しました。しかし、本来はもっと観客数を伸ばす必要があり、今回の有価証券入場者数178人を拡大させる方向で更なる努力が必要だと感じました。今日、クラシック音楽はマイナーな音楽市場となっていますが、顧客の意識の変化をとらえきれていないのが現状だと思います。鳥取オペラ協会にとっては、不特定多数を顧客と考えるよりも、私たちにとって価値ある顧客とは何かを模索し、セグメントしたマネジメントが必要な時期に来ていると感じました。顧客を獲得するための様々な努力の方法が、旧態然とした、演奏者の手売りが中心になっているが、何らかの芸術鑑賞する方々の期待を高める活動なり、新しい顧客サービスの在り方を見つけたい必要があると感じました。

アンケート回収率 11.8%

□ディレクターコメント

アンケート回収率は高くありませんが、顧客の見送りに出演者が出口に参集したため、フェイス・トゥー・フェイスの交流が行われ、回収率が下がったと考えられます。

性別 男 6人=25% 女 18人=75%

□ディレクターコメント

顧客の3/4が女性であるという世の中の潮流は変えられないものかと感じました。

年齢 20歳未満 2人=8.3% 40代 3人=12.5% 50代 2人=8.3%

60代 4人 =16.7% 70代以上 13人=54%

□ディレクターコメント

顧客年齢層の高齢化は全国的な傾向ですが、クラシック音楽を聴くという風土づくりには、もっと活発なオペラ公演が必要だと感じています。アザレア音楽祭等で、サロンオペラの常連化を図る必要があるものと感じました。

お住まい 東部 5人=20.8% 中部 16人=66.7% 西部 3人=12.5%

本日のコンサートを何でお知りになりましたか？

1. ちらし 8人=33.3% 2. ポスター 6人=25% 3. アルテ 0人=0%
4. 友人 12人=50% 5. 新聞 2人 8.3% 6. 県広報 0
7. その他 2人=8.3%

本日のコンサートはいかがでしたか？

1. とても満足 18人=75% 2. 満足 5人=20.8% 3. 普通 2人=8.2%
4. 不満 0人 5. とても不満 0人

※よろしければその理由をお聞かせください。

○実力者の方々の素晴らしい演奏に感激しました！

○豪華なソプラノの aria、二重唱が聴けて良かった。満足。大好きな「魔笛」と「椿姫」があり、良かった。

○とてもすてきな歌声・ピアノでした。

○たくさんの方の歌声を、一度に聴ける楽しい場でした。オペラの楽しさと、人の心を歌う姿、表現に、素敵なしと時を過ごしました。

○見応え、聴き応えがありました！

○都会のようにオペラを機会がないので、とても良かったです。

○素晴らしい歌声をお聴きし、幸せでした。

○演出にもう少し工夫があった方が良かった。

○合唱(乾杯の歌)がラストに変更されたのは良かった。

○カッコよかったです。

○選曲も良く、出演者さんも良かったです。

○感動しました。

○皆さん、とても素晴らしかったです。

○演技と発声技術の素晴らしさ。

□ディレクターコメント

聴いていただいた方には、大変満足度の高い公演となりました。鳥取オペラ協会所属の歌手たちは、かなりレベルの高い集団に成長しています。そんな意味からも、再三の公演が行われる体質に変化させる必要があるようです。

今後もこのようなコンサートに参加してみたいですか？

- | | | | |
|------------|---------|------------|----------|
| 1. ぜひ参加したい | 18人=75% | 2. 参加したい | 5人=20.8% |
| 3. わからない | 1人=4.1% | 4. 参加したくない | 0人 |

※またどのような講座を希望しますか

- できれば、ピアノの伴奏ではなく、室内オケであれば更に良い。
- もっともっとオペラのステージを開催して欲しい。
- 日本語の歌を聴きたいです。例えば「夕鶴」。
- 二部の様な一つのオペラから2～3曲取り上げて構成した方が良いと思う。
- ピアノだけでなく、オーケストラでの演奏を聴きたい。

本日のオペラガラコンサートの感想をお聞かせください。

- フィナーレの「乾杯の歌」が素晴らしかった。
- ソプラノだけでなく、テノール、バリトンも加わり、演奏全てに幅が出た。
- 小ホールで、間近で見え、とても感動した。
- 尾前さんのパミーナが素晴らしかった。三人娘は、オペラの楽しさを伝えてくれたと思います。Soloでは、小椋さん、「かなしさ」が伝わってきました。久しぶりに西岡さんの心の歌を聴きました。鳥取オペラ協会は、中原、佐々木と二人の素晴らしい歌手を育てたと思います。次は、男声を育ててください。
- 後半はストーリーがよくわかり、楽しめた。
- 小さいホールなのが、又よかった。声も素晴らしかった。フルのオペラより、アリアを集めたのも良かった。
- 魔笛が良かった。
- 寺内さん、中原さん、大好きです。
- もう少し、男性の声も聴きたい。
- 「椿姫」最後の第三幕の2曲が、もったいないくらいに良かったです。
- 思っていたより質が高く良かった。



□ディレクターコメント

アンケートにもありましたが、男声の育成が、今後成長のカギとなると思います。男性会員の参加が望まれます。以上、報告いたします。